

2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年5月10日

上場会社名 フィンテック グローバル株式会社 上場取引所 東
コード番号 8789 URL <https://www.fgi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉井 信光
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 千田 高 (TEL) 03-6456-4600
上席執行役員
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	6,555	44.7	1,646	154.9	1,588	152.7	1,117	134.1
2023年9月期第2四半期	4,530	2.5	645	—	628	—	477	—

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 1,248百万円(90.8%) 2023年9月期第2四半期 654百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	5.56	5.54
2023年9月期第2四半期	2.37	2.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	20,623	10,336	44.6
2023年9月期	19,123	9,393	43.4

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 9,204百万円 2023年9月期 8,292百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	1.50	1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,400	22.6	2,200	63.7	2,000	56.6	1,400	△12.7	7.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年9月期2Q	201,321,700株	2023年9月期	201,305,200株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	1,957,420株	2023年9月期	20株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年9月期2Q	200,876,680株	2023年9月期2Q	201,301,966株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(自己株式の取得による影響)

当社は、2024年5月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議いたしました。これにより、「3. 2024年9月期の連結業績予想」における「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、投資銀行事業において事業承継問題を抱える企業の買い手となって課題を解決する事業承継ソリューション業務受託と付帯するプライベートエクイティ投資を推進しております。

当第2四半期連結累計期間は、複数の事業承継案件が順調に進捗し航空機アセットマネジメントも伸長したことにより、売上高は6,555百万円（前年同期比44.7%増）、売上総利益は3,868百万円（前年同期比62.4%増）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費及び支払手数料の増加により前年同期比28.0%増の2,221百万円となりましたが、営業利益は売上総利益の増加により1,646百万円（前年同期比154.9%増）、経常利益は1,588百万円（前年同期比152.7%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益に負ののれん発生益66百万円を計上したことにより、1,117百万円（前年同期比134.1%増）となりました。

（単位：百万円）

	2023年9月期 第2四半期 連結累計期間	2024年9月期 第2四半期 連結累計期間	増減額
売上高	4,530	6,555	2,024
投資銀行事業	3,284	5,316	2,031
公共コンサルティング事業	182	238	55
エンタテインメント・サービス事業	1,211	1,208	△3
消去	△148	△208	△59
売上総利益	2,381	3,868	1,487
投資銀行事業	2,200	3,560	1,359
公共コンサルティング事業	95	148	53
エンタテインメント・サービス事業	148	262	114
消去	△62	△103	△40
営業利益 (セグメント利益又はセグメント損失(△))	645	1,646	1,000
投資銀行事業	1,193	2,254	1,061
公共コンサルティング事業	△17	12	30
エンタテインメント・サービス事業	△158	△142	16
消去又は全社費用	△371	△478	△107
経常利益	628	1,588	959
税金等調整前四半期純利益	786	1,655	868
親会社株主に帰属する四半期純利益	477	1,117	640

セグメント別の業績は以下のとおりです。なお、売上高についてはセグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

① 投資銀行事業

投資銀行事業では、事業承継案件をはじめとする各種アレンジメントによるアップフロント報酬や期中管理報酬、成功報酬等の業務受託収益、並びにプライベートエクイティ投資の回収による投資収益が前年同期比で増加しました。アセットマネジメントについては、預り資産残高が海外投資家によるレジデンス投資により前連結会計年度末比35.9%増の1,519億円となり、ストック型収益の基盤が強化されました。アセット投資による収益については、不動産信託受益権による小口化商品販売が増加し、また当第2四半期から開始した航空機オペレーティングリースや売却収益により、前年同期比で増加しました。航空機アセットマネジメントにおいては、機体検査などの技術サービス、航空機登録サービス、航空機リマーケティングによる収益がそれぞれ増加し、日本においても投資家が保有するリース中の航空機用エンジンの売却仲介を行うなど、好調に推移しました。

以上の結果、投資銀行事業の売上高は5,316百万円（前年同期比61.9%増）、セグメント利益は2,254百万円（前年同期比89.0%増）となりました。

② 公共コンサルティング事業

公共コンサルティング事業では、財務書類作成支援業務においてアウトソーシングニーズと当社グループの専門性によって大規模自治体からの引き合いが続いており、受託団体数は政令指定都市・特別区において1団体増加し9団体となりました。なお、第3四半期からは都道府県において1団体増加し13団体となる予定です。公共施設マネジメント支援業務においては、各施設の維持管理・更新等を定める個別施設計画の他、長寿命化や再編・再配置に関する計画・調査の支援が増加しました。

以上の結果、公共コンサルティング事業の売上高は238百万円（前年同期比30.6%増）、セグメント利益は12百万円（前年同期は17百万円の損失）となりました。

③ エンタテインメント・サービス事業

エンタテインメント・サービス事業では、ムーミンバレーパークにおいて2023年11月から2024年1月に「ウインターワンダーランド イン ムーミンバレーパーク2023」や「ムーミン谷の冬花火」、2024年3月からは開業5周年のプロモーションや「SPRING FESTIVAL 2024」などを行い集客に努めました。メッツァ（メッツァビレッジ及びムーミンバレーパーク）の来園者数は前年同期比5.3%減の33万人でしたが、夜のイベント・花火大会による滞在時間の増加や価格改定等により、物販・飲食による顧客単価は上昇しました。

以上の結果、エンタテインメント・サービス事業の売上高は1,208百万円（前年同期比0.3%減）となりました。費用面では業務委託などの見直しや価格改定により、原価率は前年同期比9.5ポイント改善し78.3%となった結果、セグメント損益は前年同期より16百万円改善して142百万円の損失となりました。

なお、ムーミンバレーパークは2024年3月16日に開業5周年を迎え、コンテンツの充実施策やプロモーションの積極展開を開始しました。今後、既存施設のリニューアルや常設コンテンツの新規導入を順次進めて来園者数の回復を図って参ります。

(2) 財政状態に関する説明

① 総資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末より7.8%増加し、20,623百万円となりました。これは主として、現金及び預金が257百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が198百万円、新規投資により営業投資有価証券が202百万円、不動産開発案件の竣工などにより販売用不動産が512百万円、オペレーティングリース事業開始に伴う賃貸資産の取得及びメッツァにおける太陽光発電設備の設置により有形固定資産の「その他」が499百万円増加したことによるものであります。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末より5.7%増加し、10,286百万円となりました。これは主として、賃貸資産の取得のための借入により短期借入金が613百万円、1年内返済予定の長期借入金が125百万円増加したものの、長期借入金が280百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末より10.0%増加し、10,336百万円となりました。これは主として、自己株式の取得により149百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が1,117百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

事業承継ソリューション業務受託と付帯するプライベートエクイティ投資において第2四半期実績及び第3、第4四半期業績見込みに大きな進捗があり、その他の投資銀行事業の各業務も順調に進捗していることから、2023年11月8日（1株当たり当期純利益は2024年2月9日）に公表しました連結業績予想を以下の通り修正しました。

通期連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,000	1,800	1,600	1,200	6.00
今回発表予想 (B)	11,400	2,200	2,000	1,400	7.01
増減額 (B-A)	1,400	400	400	200	—
増減率 (%)	14.0	22.2	25.0	16.7	—
(ご参考)前期実績 (2023年9月期)	9,302	1,343	1,277	1,603	7.97

なお、連結業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,918,561	3,176,392
受取手形、売掛金及び契約資産	1,355,231	1,554,144
営業投資有価証券	2,848,142	3,050,888
営業貸付金	346,365	339,465
販売用不動産	4,095,967	4,608,546
商品	160,768	148,341
その他	883,381	798,156
貸倒引当金	△131,170	△142,383
流動資産合計	12,477,247	13,533,551
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,379,191	5,367,441
減価償却累計額	△902,259	△980,105
建物及び構築物（純額）	4,476,932	4,387,336
その他	1,053,136	1,552,814
有形固定資産合計	5,530,068	5,940,150
無形固定資産		
のれん	105,272	92,610
その他	25,987	48,944
無形固定資産合計	131,260	141,555
投資その他の資産		
投資有価証券	535,327	516,137
長期貸付金	16,672	12,506
繰延税金資産	140,877	122,400
その他	292,531	391,505
貸倒引当金	△30	△34,465
投資その他の資産合計	985,377	1,008,083
固定資産合計	6,646,706	7,089,788
資産合計	19,123,953	20,623,340

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	308,710	363,859
短期借入金	77,954	690,972
1年内返済予定の長期借入金	6,082,038	6,207,054
未払法人税等	125,884	248,638
リース債務	149,086	36,097
賞与引当金	257,626	253,835
その他	879,363	912,851
流動負債合計	7,880,663	8,713,307
固定負債		
長期借入金	1,290,817	1,010,509
リース債務	50,723	34,112
繰延税金負債	97,175	96,073
退職給付に係る負債	126,297	139,338
その他	284,955	293,429
固定負債合計	1,849,970	1,573,463
負債合計	9,730,633	10,286,770
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,372,574	5,373,336
資本剰余金	974,443	968,642
利益剰余金	1,794,907	2,912,473
自己株式	△0	△149,993
株主資本合計	8,141,924	9,104,458
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67,416	21,098
為替換算調整勘定	83,266	78,929
その他の包括利益累計額合計	150,683	100,027
新株予約権	77,299	99,331
非支配株主持分	1,023,412	1,032,752
純資産合計	9,393,319	10,336,570
負債純資産合計	19,123,953	20,623,340

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	4,530,710	6,555,685
売上原価	2,149,152	2,687,048
売上総利益	2,381,557	3,868,636
販売費及び一般管理費	1,735,569	2,221,985
営業利益	645,988	1,646,651
営業外収益		
受取利息	1,915	6,402
受取配当金	—	3,209
持分法による投資利益	41,510	30,650
助成金収入	26,769	2,279
その他	1,656	2,909
営業外収益合計	71,852	45,451
営業外費用		
支払利息	64,973	70,751
投資有価証券評価損	—	14,970
為替差損	18,133	12,273
その他	6,352	6,063
営業外費用合計	89,460	104,059
経常利益	628,380	1,588,043
特別利益		
負ののれん発生益	190,025	66,531
その他	369	511
特別利益合計	190,394	67,043
特別損失		
固定資産除却損	32,369	—
特別損失合計	32,369	—
税金等調整前四半期純利益	786,406	1,655,086
法人税、住民税及び事業税	146,439	308,183
法人税等調整額	—	47,784
法人税等合計	146,439	355,968
四半期純利益	639,967	1,299,118
非支配株主に帰属する四半期純利益	162,534	181,552
親会社株主に帰属する四半期純利益	477,432	1,117,565

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	639,967	1,299,118
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,758	△46,318
為替換算調整勘定	△5,528	△4,556
その他の包括利益合計	14,230	△50,874
四半期包括利益	654,197	1,248,243
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	494,092	1,082,546
非支配株主に係る四半期包括利益	160,104	165,697

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 株主資本の著しい変動

当社は、2022年12月22日開催の第28期定時株主総会において、資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分について決議し、2023年1月27日にその効力が発生しました。これにより、資本金が1,098,930千円、資本準備金が4,036,488千円減少し、その他資本剰余金に振り替えるとともに、利益準備金が47,303千円減少し、繰越利益剰余金に振り替えました。

また、増加したその他資本剰余金5,135,419千円を繰越利益剰余金に振り替え、繰越利益剰余金の欠損を填補しました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が5,372,574千円、資本剰余金が960,465千円、利益剰余金が668,910千円となっております。

なお、株主資本の合計金額への影響はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資銀行 事業	公共コンサル ティング事業	エンタテイン メント・サー ビス事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	3,175,480	176,952	1,178,277	4,530,710	—	4,530,710
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	109,360	6,000	33,528	148,888	△148,888	—
計	3,284,840	182,952	1,211,805	4,679,599	△148,888	4,530,710
セグメント利益 又は損失(△)	1,193,065	△17,640	△158,339	1,017,085	△371,097	645,988

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△371,097千円には、セグメント間取引消去114,028千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△485,126千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

投資銀行事業セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間より(株)トリニティジャパンの株式取得による連結子会社化に伴い、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は190,025千円であります。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資銀行 事業	公共コンサル ティング事業	エンタテイン メント・サー ビス事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	5,200,514	232,861	1,122,309	6,555,685	—	6,555,685
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	116,288	6,000	86,418	208,706	△208,706	—
計	5,316,802	238,861	1,208,727	6,764,391	△208,706	6,555,685
セグメント利益 又は損失 (△)	2,254,923	12,448	△142,298	2,125,073	△478,421	1,646,651

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△478,421千円には、セグメント間取引消去156,693千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△635,115千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

投資銀行事業セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間より㈱ピーコンホームサービスの株式取得による連結子会社化に伴い、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は66,531千円であります。なお、負ののれんの発生益の金額は、当第2四半期連結累計期間において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。また、負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント利益には含まれておりません。